

第2回三木市学校給食審議会 次第

日 時：令和5年5月19日（金）

午後7時から

会 場：三木市役所5階大会議室

1 開会

2 議事

(1) 議案第1号 三木市学校給食基本方針の策定について

(2) 議案第2号 三木市学校給食費の改定について

3 まとめ

4 閉会

三木市学校給食基本方針（案）

- 1 おいしく安全・安心な給食を提供する
- 2 食育を推進する
- 3 地産地消を促進する
- 4 郷土愛を育む献立を充実させる

1 おいしく安全・安心な給食を提供する

- (1) おいしい給食を前提として減塩に努め、素材の味を感じられるよう献立を工夫します。
- (2) 食材の調達において、衛生面に十分配慮し、安全性を確保します。
- (3) 検収、調理及び配食等のすべての過程で衛生管理を徹底します。
- (4) 食物アレルギーを有する児童生徒、保護者、学校、調理場と連携し、可能な限りアレルギー対応します。

2 食育を推進する

- (1) 食に関する指導の全体計画に基づき、学校給食を「生きた教材」として活用し、体系的、計画的、継続的に食育を推進します。
- (2) 食に関する正しい知識を身につけさせ、望ましい食習慣の形成や食に関する自己管理能力を育成します。
- (3) 食べ物を大切にし、生産者、納入業者、調理従事者など給食に関わる全ての人への感謝の心を育みます。

3 地産地消を促進する

市内産の食材を主体とし、県産の食材も積極的に取り入れ、地域の自然や文化、産業等への理解を深めます。

4 郷土愛を育む献立を充実させる

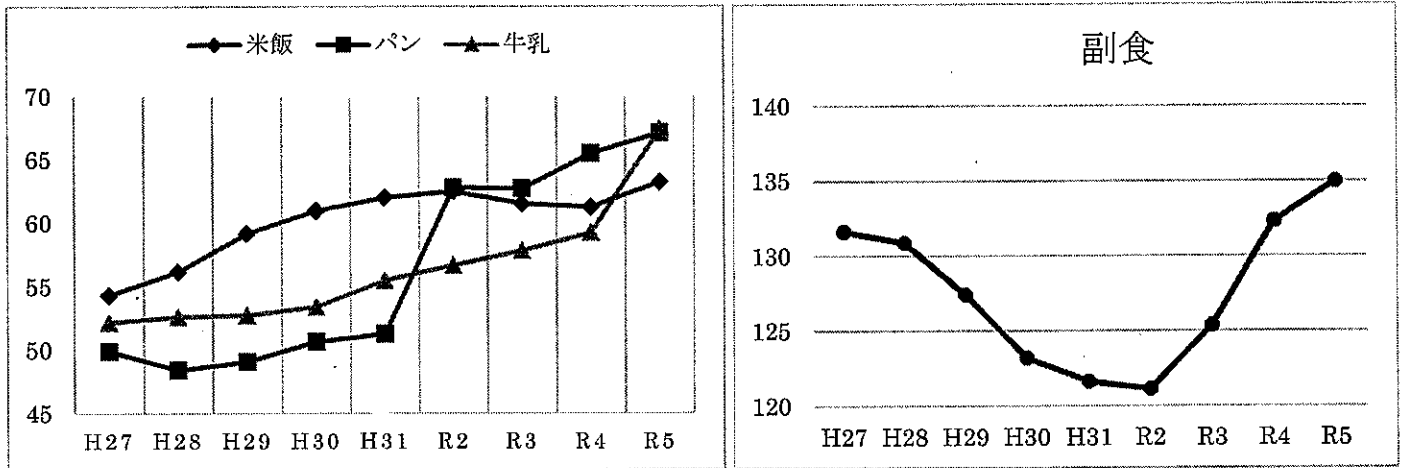
市や県の特産品や郷土食、伝統食を積極的に取り入れ、郷土について愛着を持てる子どもに育てます。

議案第2号 学校給食費の改定について

1 食材費の状況

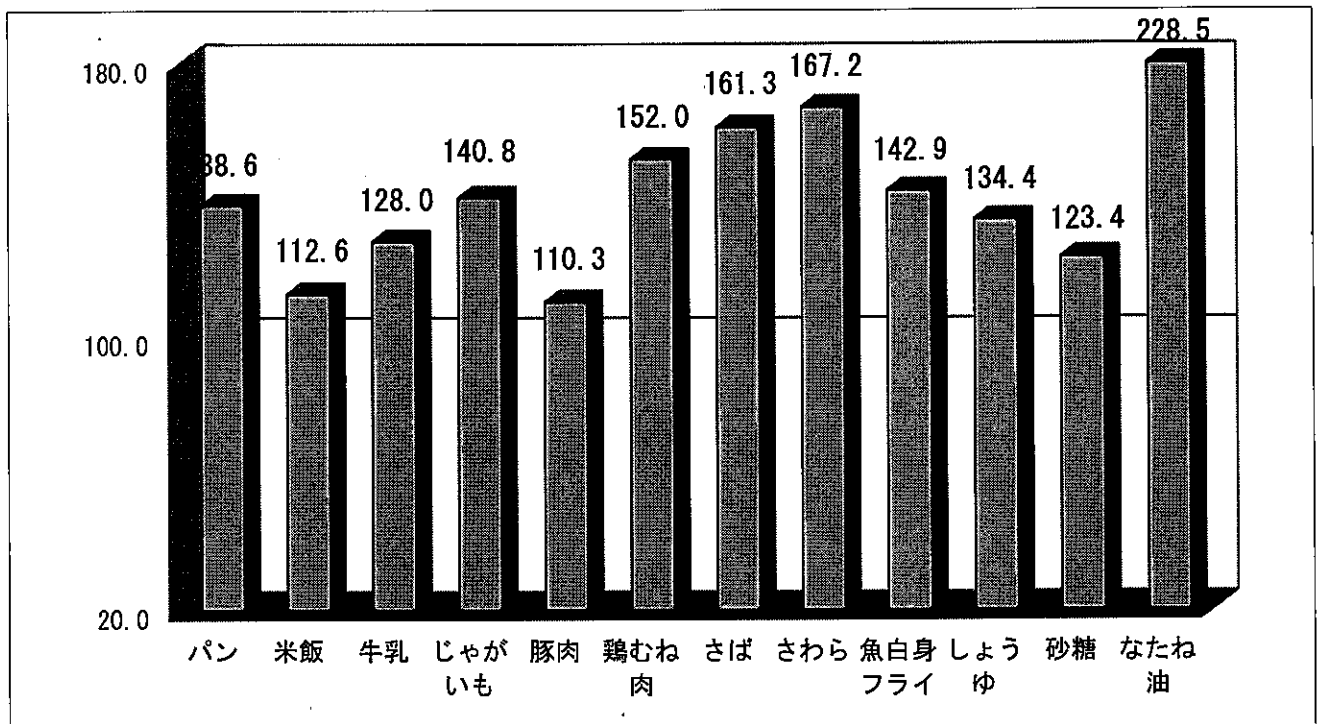
(1) 主食・牛乳・副食価格の推移(小学校)

(単位:円/1食当たり)



(2) 平成28年4月の価格を100とした場合の令和5年4月価格の比率

(単位:%)



2 食材費高騰への対応

(1) 献立の工夫

- ・ 変わりパン・混ぜご飯の回数: H28年 71回 → R4 48回
- ・ デザート・果物の回数: H28年 31回 → R4 27回

- ・安価な食材に変更（鶏もも肉→鶏むね肉、牛肉→豚肉・鶏むね肉 鮭→しいら・さばに変更）
- ・高価な食材を使用しない（三つ葉・パセリ等）

(2) 給食会計収支 (単位：千円)

	R3 決算	R4 決算見込	R5 当初
給食費	269,330	264,379	260,876
給食材料費	275,298	279,543	297,204
収支	▲5,968	▲15,164	▲36,328

(3) 赤字補填策

	R3 決算	R4 決算見込	R5 当初
基金繰入金・繰越金	5,972	0	7,332
物価高騰分補助（地方創生臨時交付金）	0	15,448	28,996
収支	4	284	0
基金残高（各年度末）	7,332	7,332	0

平成 27 年度以降改定を行っておらず、主食・牛乳代の上昇により、安価な食材への変更や献立を工夫しながら、副食費を切り詰める一方、栄養価は確保してきました。

しかしながら、昨今の社会情勢に伴い、食材費が高騰し続け、このままでは、献立や食材の工夫だけでは安定した給食の提供が難しいため、給食費の改定は避けられないと考えます。

3 改定額案の算出について

(1) 物価高騰分のみ上乗せした場合の改定額の 1 食当たりの内訳

- ・コロナ前の令和元年度と物価上昇率から算定基礎額を算出

(小学校)

内訳	令和元年	上昇率	算定基礎額
主食費	58.99 円	10.27%	65.05 円
牛乳費	55.48 円	23.90%	68.74 円
副食費	119.53 円	13.95%	136.21 円
1 食当たり単価	234.00 円	15.38%	270.00 円

(中学校)

内訳	令和元年	上昇率	算定基礎額
主食費	68.19 円	10.27%	75.19 円
牛乳費	55.48 円	23.90%	68.74 円
副食費	141.33 円	16.09%	164.07 円
1食あたり単価	265.00 円	16.23%	308.00 円

(2)パンの小麦粉を県産に変更した場合の改定額の1食当たりの内訳

・(1)に輸入と県産小麦との差額2円を加える

(小学校)

内訳	令和元年	上昇率	算定基礎額
主食費	58.99 円	13.66%	67.05 円
牛乳費	55.48 円	23.90%	68.74 円
副食費	119.53 円	13.95%	136.21 円
1食あたり単価	234.00 円	16.24%	272.00 円

(中学校)

内訳	令和元年	上昇率	算定基礎額
主食費	68.19 円	13.20%	77.19 円
牛乳費	55.48 円	23.90%	68.74 円
副食費	141.33 円	16.09%	164.07 円
1食あたり単価	265.00 円	16.98%	310.00 円

(3)さらに副食・デザート類の充実させた場合の改定額の1食当たりの内訳

・(2)に副食・デザート類の充実させるため6円の増額を行う

(小学校)

内訳	令和元年	上昇率	算定基礎額
主食費	58.99 円	13.66%	67.05 円
牛乳費	55.48 円	23.90%	68.74 円
副食費	119.53 円	18.97%	142.21 円
1食あたり単価	234.00 円	18.80%	278.00 円

(中学校)

内訳	令和元年	上昇率	算定基礎額
主食費	68.19 円	13.20%	77.19 円
牛乳費	55.48 円	23.90%	68.74 円
副食費	141.33 円	20.34%	170.07 円
1食当たり単価	265.00 円	19.25%	316.00 円

4 改定にあたって

(1) 給食費改定の間隔について

平成27年度改定時には、以降3年間の物価上昇率を見込んだが、今回は、令和7年度以降の物価上昇率は見込めず、令和6年度のみ算定額となっています。

(2) パンの小麦粉の県産への変更について

県産の食材を積極的に取り入れるため、県産の小麦粉を薦めたいと思います。